

第 86 回メーデー岩手県中央集会挨拶（2015 年 5 月 1 日）

第 86 回メーデー岩手県中央集会にご参加の皆さん。おはようございます。

日本共産党の県議会議員、斉藤信でございます。日本共産党を代表して心からの連帯の挨拶を申し上げます。

今年のメーデーは、戦後 70 年、戦争か平和の歴史的な岐路に直面している中で開かれています。沖縄を日本から切り離した日、4 月 28 日に、日米首脳会談が開かれました。その内容は、アメリカとともに「海外で戦争する国」づくりを進める日米同盟の強化、沖縄・辺野古での米軍新基地建設の強行、日本の食と農を破壊し、経済主権を売り渡す TPP の早期妥結など、安倍暴走政治の一層の推進を米大統領に約束するものでした。しかし、これらはどれも国民多数が反対しているものであります。

「海外で戦争する国」への大転換を、国会での議論もなく、まずアメリカに誓約すると言うのは、日本の独立と主権をないがしろにする異常な対米従属の姿勢を示すものです。

「海外で戦争する国づくりは絶対に許せない」「安倍政権の暴走ストップ」の国民的な大運動を大きく広げましょう。

「正社員ゼロ」「残業代ゼロ」をめざす労働法制の大改悪を阻止し、大幅な賃上げと人間らしく働ける雇用のルールを確立しましょう。

消費税大増税の一方で、医療、介護、年金など社会保障費を 3900 億円も削減し、大企業には 1 兆 6 千億円も減税する逆立ち政治を転換しましょう。

東日本大震災津波から 4 年 1 カ月余が経過しました。高台移転や区画整理事業など、復興事業はピークを迎えています。しかし、被災者は、いまだに 21500 人余、ピーク時の 68%が応急仮設住宅での生活を強いられています。住宅確保の見通しが持てず、「眠れぬ夜を過ごしています。6253 人が犠牲となり、そのうち、震災関連死が 452 人に及んでいます。仮設住宅での孤独死が 27 人、災害公営住宅での孤独死も 4 人出ています。被災者の命とくらしを守ることは復興の緊急重要な課題です。

住宅の建設費が坪当たり 20 万円、約 40%も値上がりしています。住宅の再建をあきらめざるを得ない被災者も出ています。国の被災者生活再建支援金を 500 万円に引き上げるとともに、県や市町村も補助金のさらなる上乗せを行うことが求められています。

復興は今、正念場を迎えています。安倍政権は来年度以降、復興事業に 3 兆円規模の被災地の地元負担を押し付けようとしています。これは復興にブレーキをかけるとともに、被災地を切り捨てる安倍政権の暴走そのものです。千年に一度の大災害に対して、5 年間だけで国の支援を削減することは許されません。

安倍政権の暴走を許さず、平和とくらしを守る草の根からの運動を広げましょう。日本共産党は、いっせいで地方選挙での全国的な躍進を岩手でも継続・発展させる県民運動の先頭に立つ決意を述べ、挨拶いたします。

第 86 回メーデー万歳！